

令和5年6月1日



園長 中川 宏美

# みらいだより

平年よりかなり早く梅雨入りが発表されました。洗濯物の乾きも心配ですよ。いっぽう、傘をさしたり長靴をはいたりといったことを楽しみにしている子どもたちもいるようです。

室内での遊びが多くなりがちな時期ですが、少しでも晴れ間ものぞく日は、できるだけ外に出て自然にいっぱい触れ、自分のやりたい遊びをたっぷり遊べるような環境を整えていきたいと思います。天候不順で体調を崩しやすいので、ご家庭でも健康には十分気をつけていただきたいと思います。

6 月			
月	日	曜	行事予定
6	2	金	虫歯予防の集い
	10	土	・お弁当の日 ・保護者交流会(どんぐり・たけのこ・りす)
	15	木	身体測定(0・1・5歳児)
	16	金	身体測定(2・3・4歳児)
	24	土	・お弁当の日 ・保護者交流会(そら)

※変更の場合あり

## 「ことばは知識ではなく体験である」

〇人から教えられたことは、一時的にはわかっているようでも、時間がたつと忘れてしまいます。〇私たちが「わかった」と理解するのは、自分から積極的に行動し反応した時ではないでしょうか。体験を通して体で覚えたことはなかなか忘れません。

〇子どもが、ゆっくりじっくり自分の手や体で実体験しようとしている時、見守ることのできる大人でいたいと思います。

## 「子どもは誰から教わらなくても、自分で自分を育てる力を持って生まれてくる」

子どもは、自分に必要な活動を知っています。その時に子どもが望む活動ができる環境が大事になってきます。一人ひとりの発達段階から始めスモールステップでできていくことが大切です。

## 子どもが主体的に取り組める食育活動 「お手伝い」 ひかりぐみ(5歳児)

「これで皮むくの？」 「ピーラーってこれのこと」 「家でやったことあるよ」

「明日のカレーの人参、じゃがいもになるんよね」

自分で人参の向きや角度を変えて、むきやすくするための工夫をしていました。

「ジャガイモはすべっちゃう」 「まっすぐむけないな」 「ジャガイモってざらざらしてる」

「ジャガイモの色が変わってきた」 クッキング活動を通して食材を五感で感じています。



### どんぐり組(0歳児)：「まてまて～！」

追いかけたり追いかけられたり、同じ玩具を取りにいたりお互いの存在を意識して遊んでいます。言葉がなくても、お互いの表情や仕草で感じ、笑顔で共感しています。



### たけのこ組(1歳児)：「クッキング」

複数のボウルを持ってきて、すくった砂を入れて混ぜます。手のコントロールが機能しているので、左手でボウルを支えてすくっていました。繰り返し遊ぶ中で、砂・泥・水の形状を感じていきます。

### りす組(2歳児)：「おみせやさん」

「私も、りんごほしい」「りんごあげますね」「これ、はいお金ね」「待ってね」「今集めてるからね」「プリンくださ～い」「はいどうぞ」イメージを膨らませながら、交替でお客さんやお店の人になりきって遊んでいます。コミュニケーション力・社会性が育まれます。



### うさぎ組(3歳児)：「ダンゴ虫の探究」

ダンゴ虫は、どんなところに住んでいるの？」「何を食べるんだろう？」「砂を入れてあげたら喜ぶんじゃない」「砂は食べないよね」友だちと考えながらダンゴ虫の家を作ったり、えさ探しに夢中になっていました。

### そら組(4歳児)：「よもぎだんご」

色水遊びから、よもぎに興味を持っていたので『ばばあちゃんのよもぎだんご』の絵本を読むと「よもぎってたべられるん？」だんご作りを計画します。粉とゆでたよもぎをこねます。「よもぎいい匂い～」「もちもち～」「美味しそう」よもぎへの興味関心が深まっていきます。



### ひかり組(5歳児)：「何の野菜を植えようかな」

「トマトがあるよ」「なすびも植えられる？」「にがうりだって」「にがうりはいらぬかな」この時期に植えられる野菜を考えます。畑を耕し、夏野菜を植える準備をしました。